

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年7月27日



証券コード：4461（東証プライム）
第一工業製薬株式会社

連結 業績の概要（前期比較）



減収減益：販売の落ち込みに加え、原材料価格の高騰が利益を圧迫

	23/3月期 第1Q累計	24/3月期 第1Q累計	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	15,441	13,884	△ 1,557	△ 10.1%
営業利益	291	△ 572	△ 864	—
経常利益	377	△ 557	△ 934	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	98	△ 477	△ 575	—

減収  **売上高**：海外向け難燃剤が大きく落ち込む

減益  **営業利益**：原材料価格の高騰による収益性低下

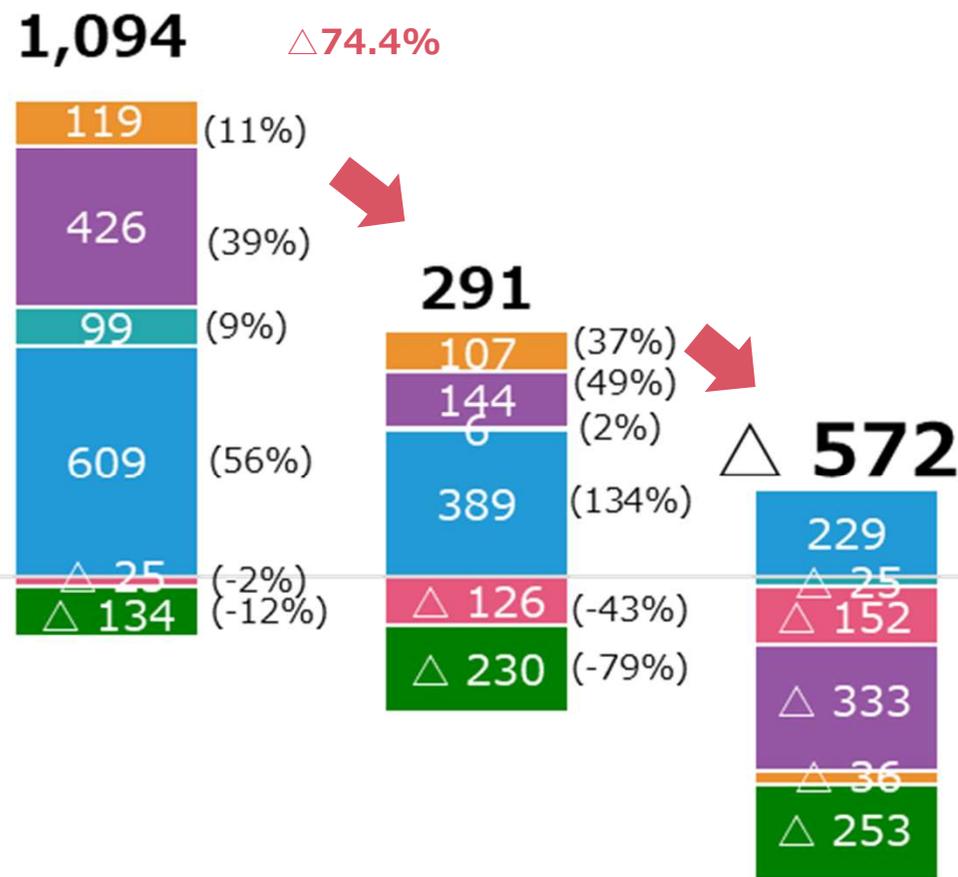
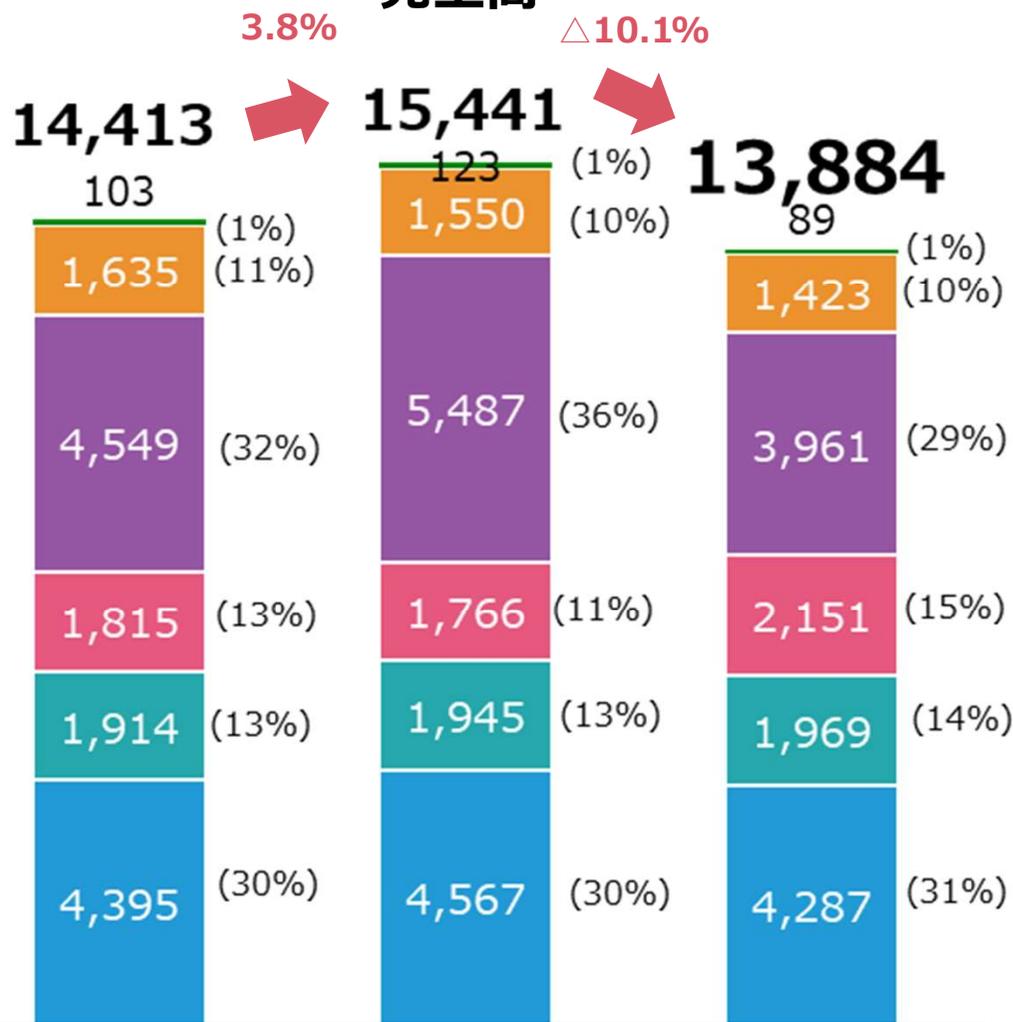
連結 セグメント別構成比の推移



売上高

営業利益

(): 構成比
(百万円)



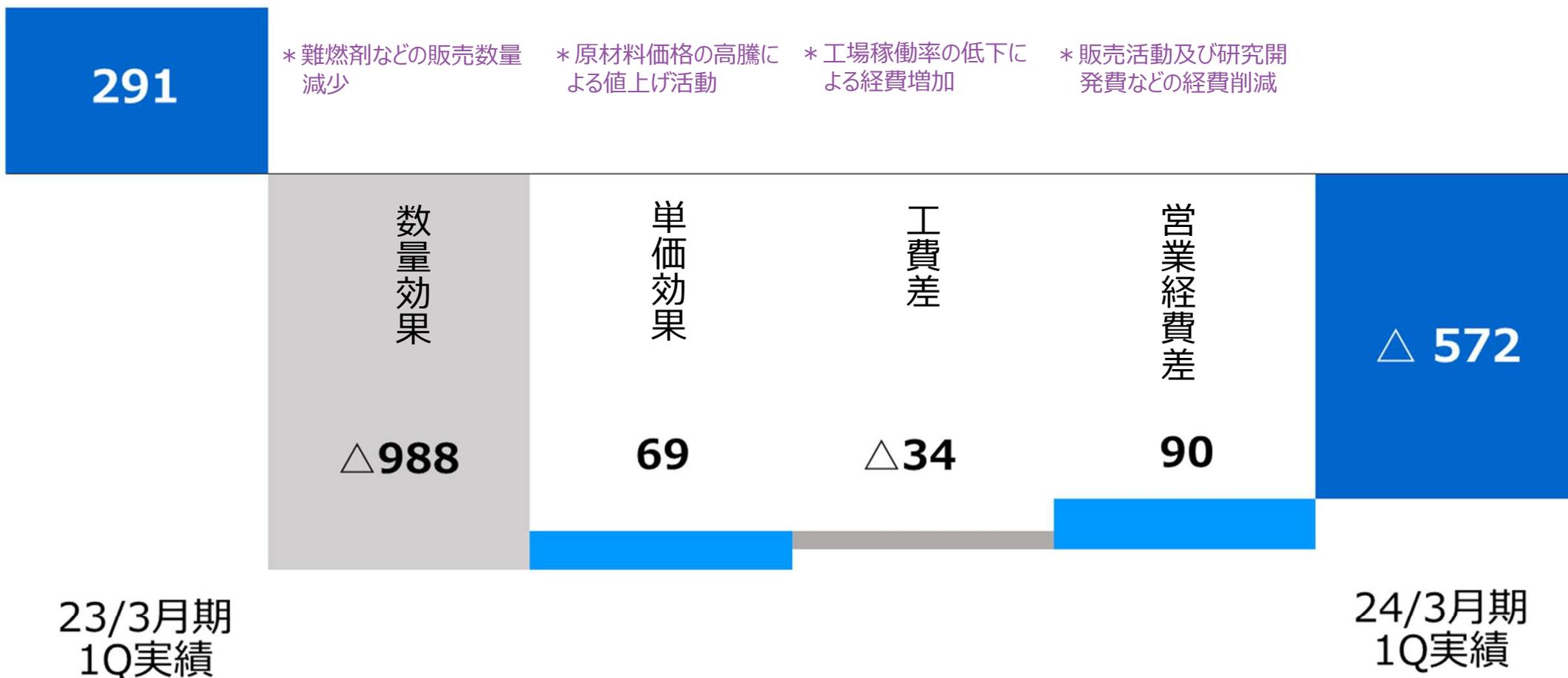
22/3月期 第1Q累計 23/3月期 第1Q累計 24/3月期 第1Q累計 22/3月期 第1Q累計 23/3月期 第1Q累計 24/3月期 第1Q累計

■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

2024年3月期 第1四半期 営業利益増減分析



(百万円)

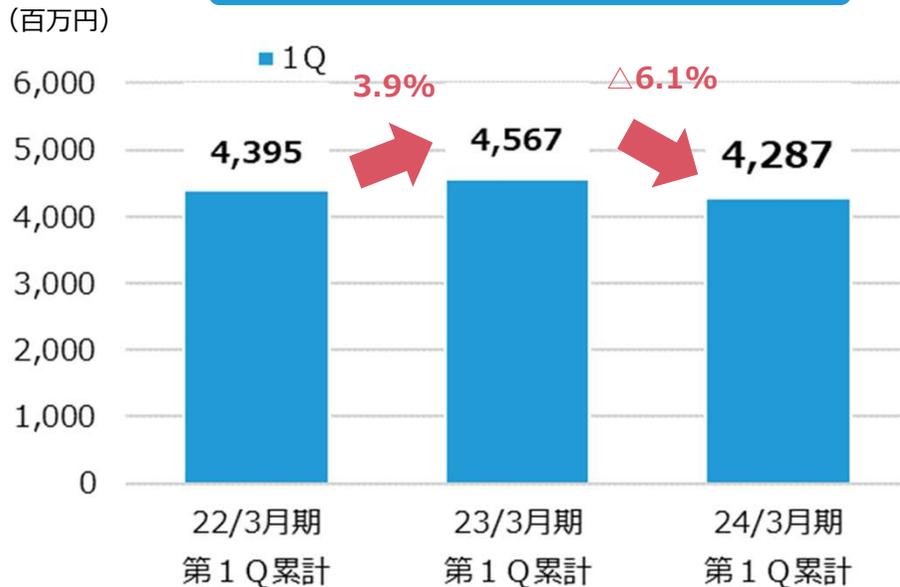




連結 セグメント業績 界面活性剤

1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

売上高



営業利益



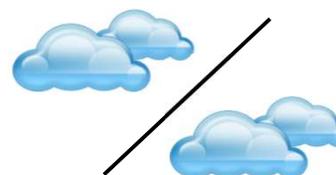
売上高：総じて低調に推移

- 塗料・色材用途：堅調に推移
- IT・電子材料、機械・金属用途：低調に推移
- 石けん・洗剤用途：大きく落ち込む

営業利益：減益

- 売上高の落ち込み
- 原材料価格の高騰による影響

IT・電子材料用途



石けん・洗剤用途



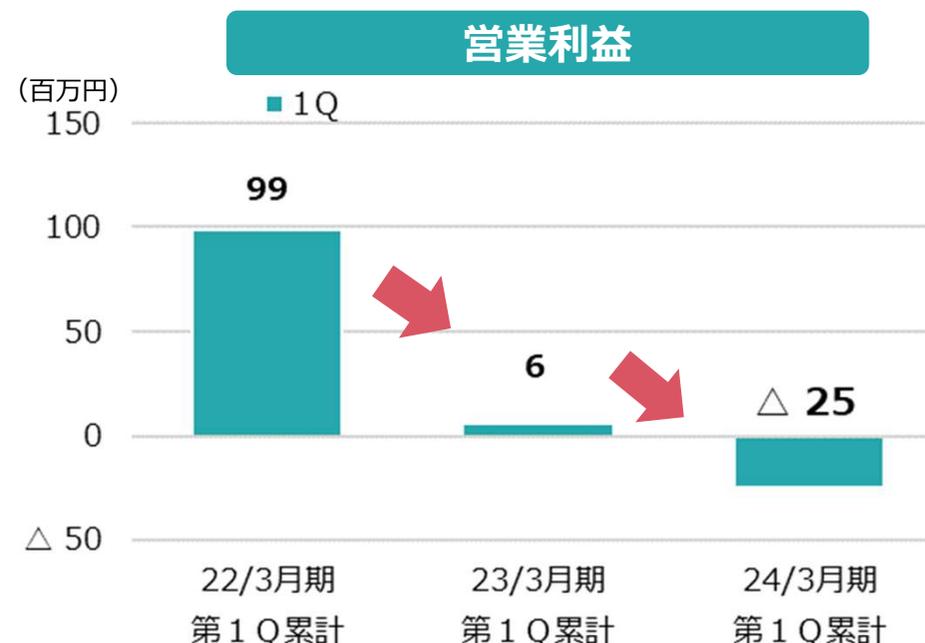
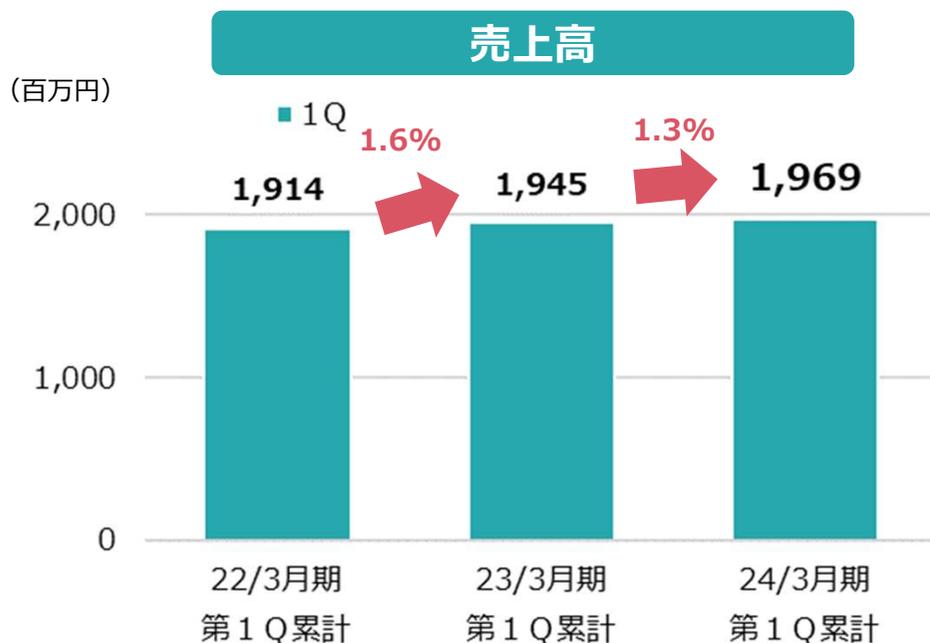
塗料・色材



連結 セグメント業績 アメニティ材料



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- 食品用途: ショ糖脂肪酸エステルは低調
- 化粧品用途: ショ糖脂肪酸エステルは海外堅調
- I礼びー・環境用途: セルロース系高分子材料は低調に推移

営業利益：営業損失

- 原材料価格の高騰による影響

化粧品用途



食品用途



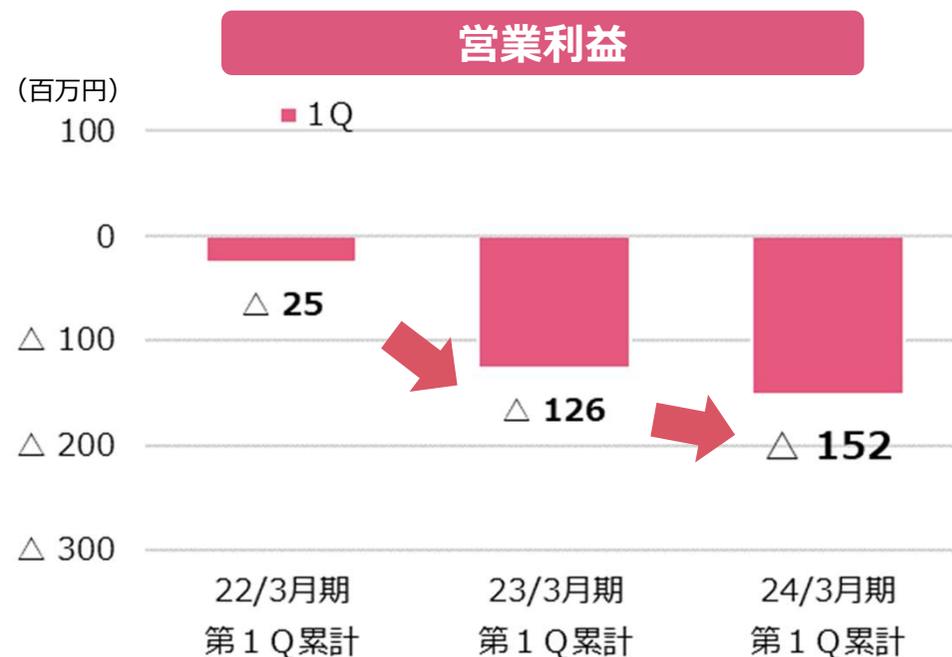
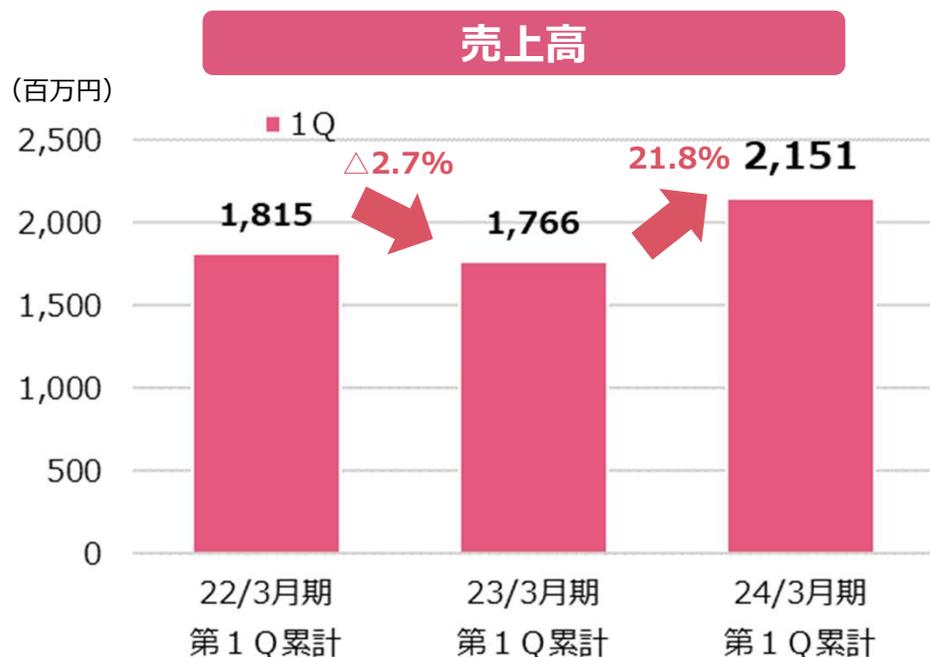
エネルギー用途



連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



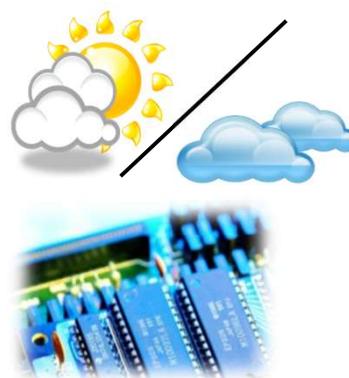
売上高：総じて大幅に伸長

- IT・電子材料用途：堅調に推移
- 土木薬剤用途：大幅に伸長
- 合成潤滑油：堅調に伸長

営業利益：営業損失

- 原材料価格の高騰による影響

IT・電子材料用途



土木用薬剤:岩盤固結



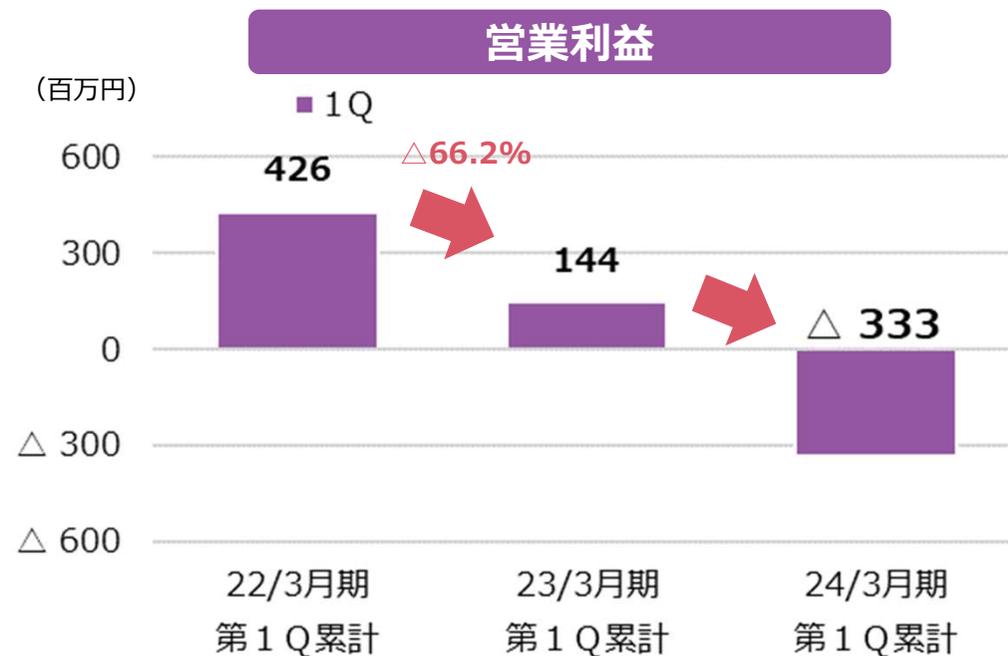
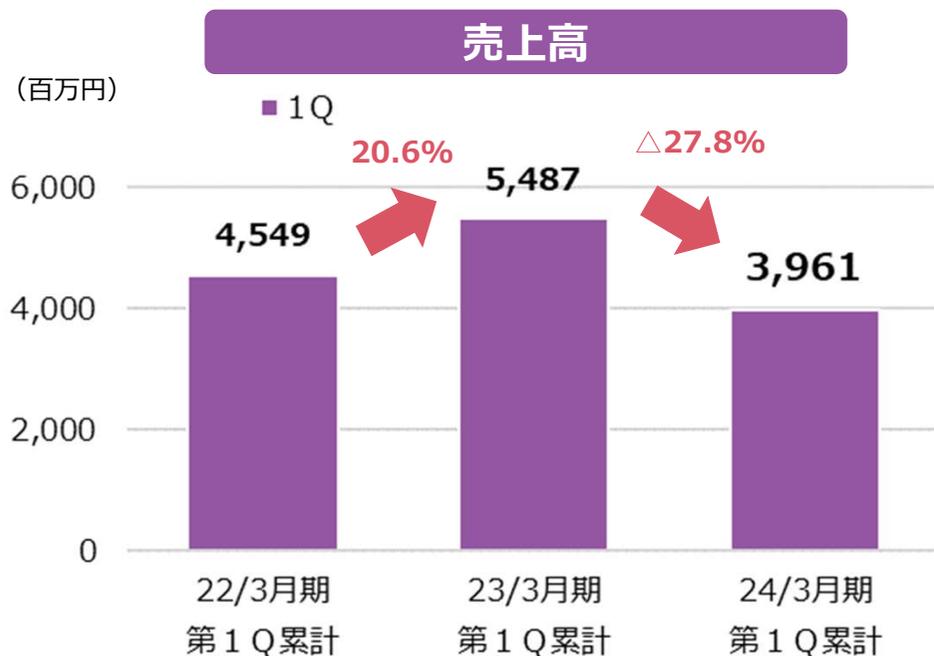
合成潤滑油



連結 セグメント業績 機能材料



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



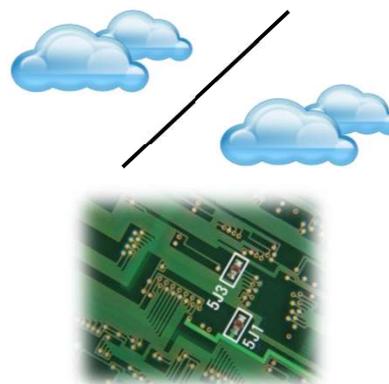
売上高：総じて大きく落ち込む

- 電子材料用途：低調に推移
- ゴム・プラスチック用途：難燃剤は国内は低調、海外は大きく落ち込む

営業利益：営業損失

- 売上高の大幅な落ち込み
- 原材料価格の高騰による影響

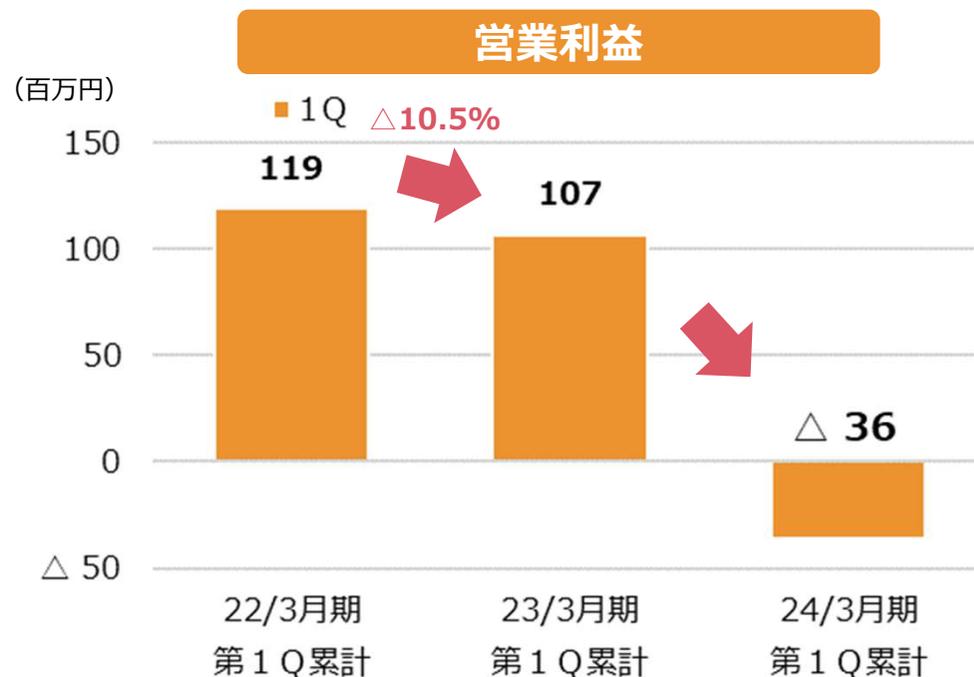
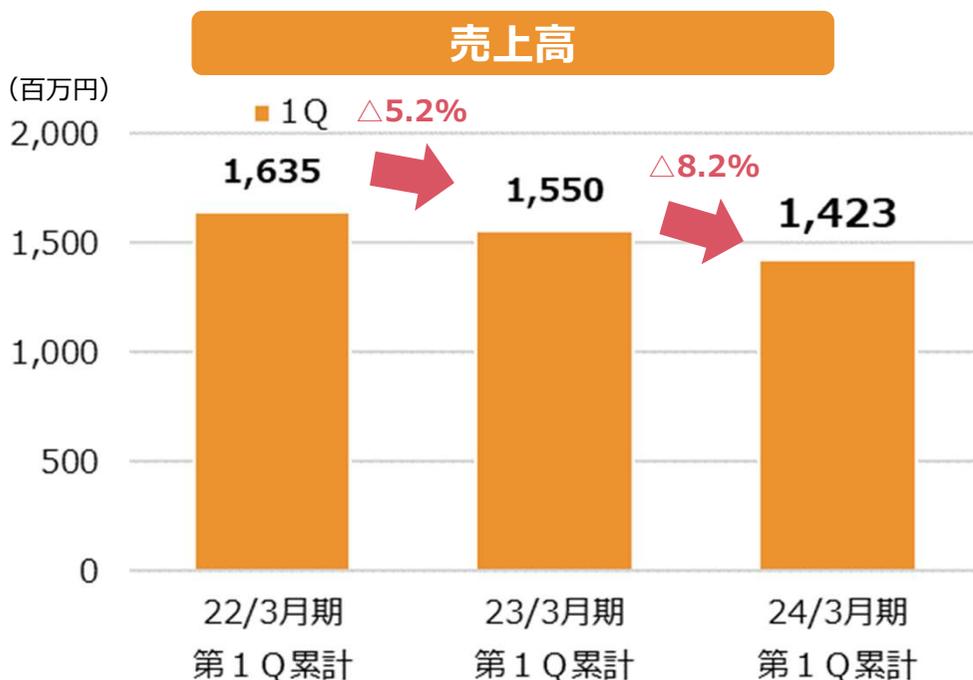
電子材料用途



プラスチック用難燃剤



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



売上高：総じて大きく落ち込む

- 太陽電池用途：導電性ペーストは低調に推移
- ディ스플레이用途：イオン液体は低調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高の大幅な落ち込み

太陽電池用途



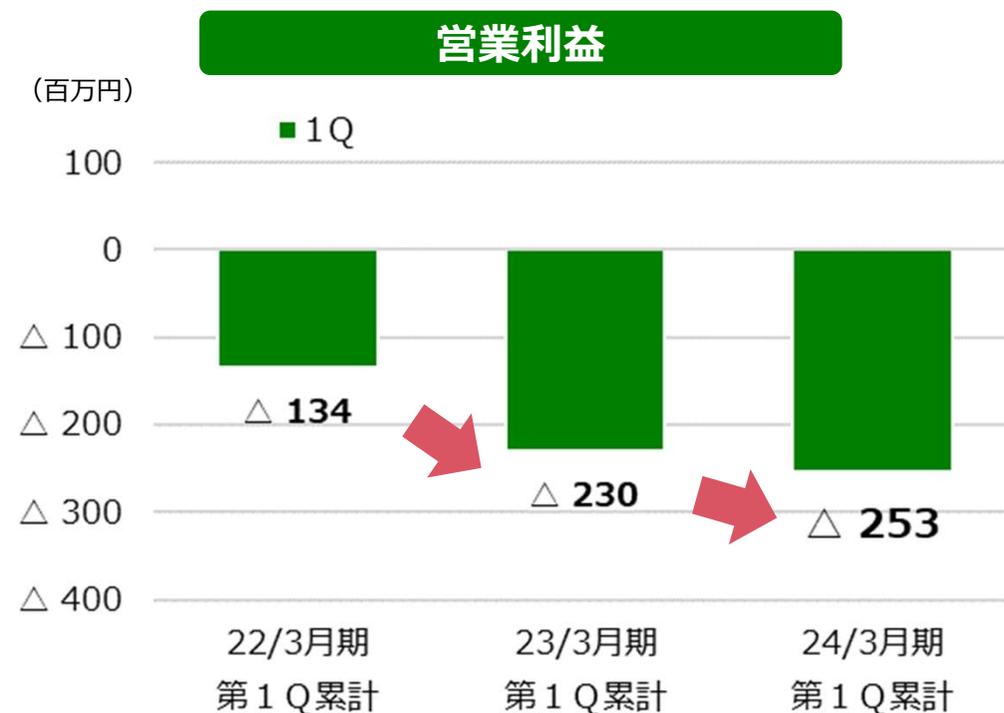
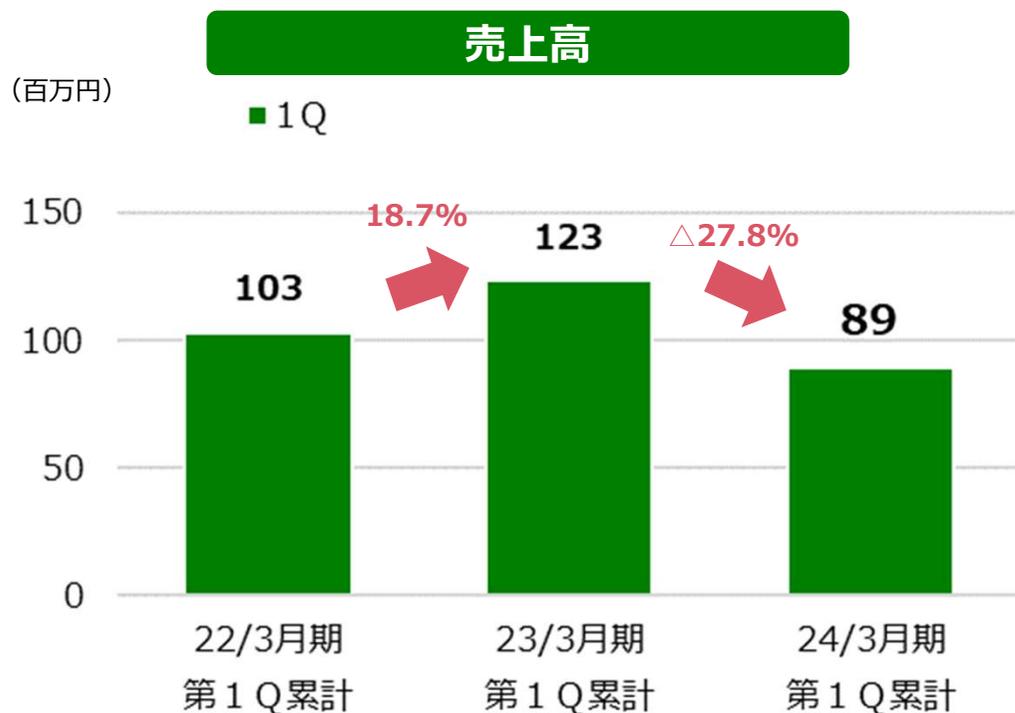
ディスプレイ用途



連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



売上高：前期と比べ34百万円減少

- カイコ冬虫夏草：堅調に推移
- 健康食品等の受託事業：低調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高の落ち込み
- 研究開発費が先行

冬虫夏草



健康食品等の受託事業

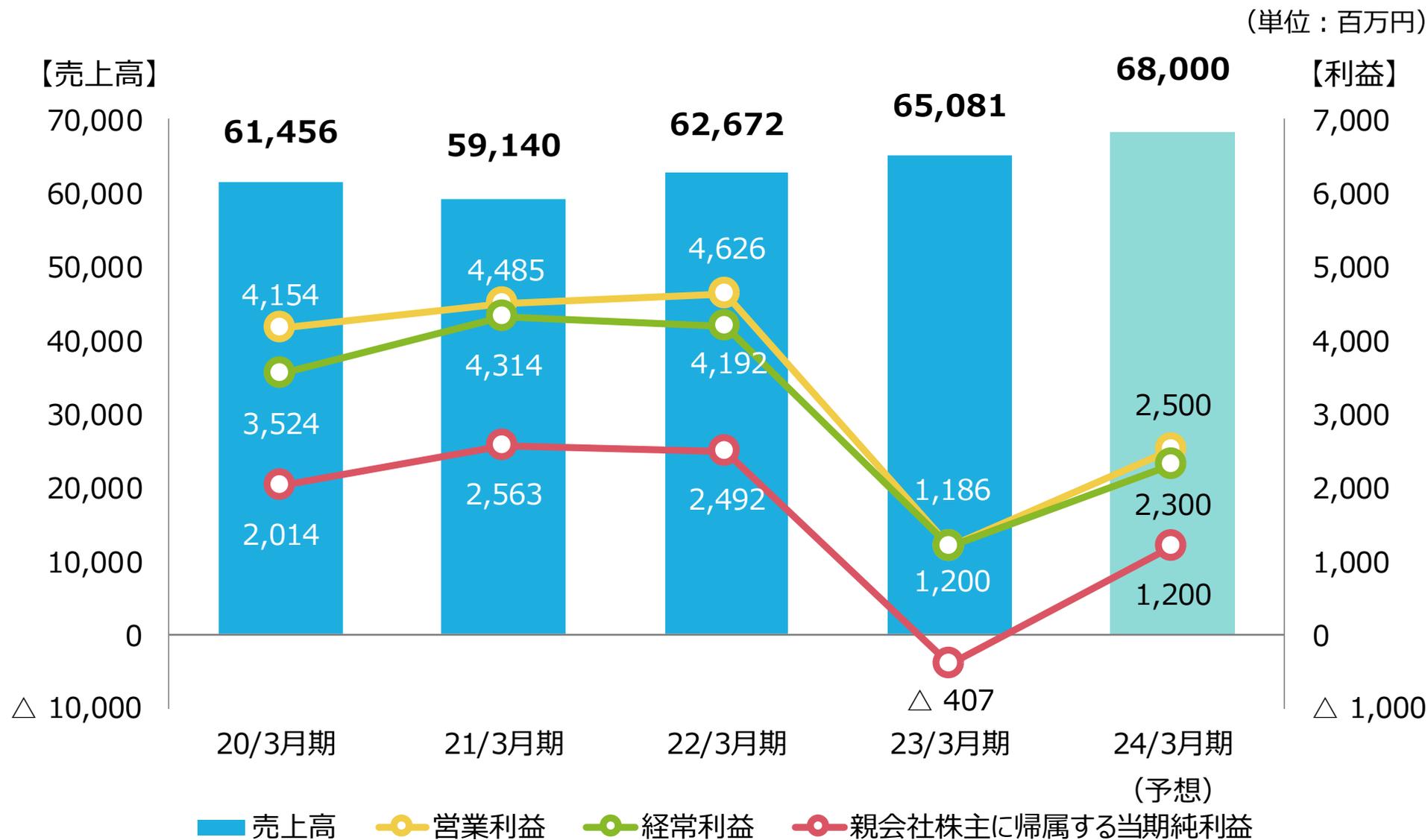


連結 連結比較貸借対照表の概要



	2023年 3月末	2023年 6月末	増減額		2023年 3月末	2023年 6月末	増減額
流動資産	45,411	49,534	4,122	流動負債	20,639	19,887	△ 752
現預金	9,128	14,946	5,817	仕入債務	10,351	8,543	△ 1,807
売上債権	17,323	16,327	△ 996	有利子負債	6,990	7,244	254
棚卸資産	16,637	15,818	△ 818	その他	3,297	4,098	801
その他	2,322	2,442	119	固定負債	26,089	32,304	6,215
固定資産	39,614	40,495	880	有利子負債	25,479	31,706	6,226
有形固定資産	32,743	33,097	354	その他	609	597	△ 11
無形固定資産	341	343	2	2 負債合計	46,729	52,191	5,462
投資・その他の資産	6,529	7,053	524	純資産	38,296	37,838	△ 458
合計	85,025	90,029	5,003	合計	85,025	90,029	5,003

連結 連結業績推移および予想



分野	状況	2024年 3月期
自動車・二輪	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足は解消されつつあり、徐々に改善の見通し。 一方、成形品などは在庫過多の状態が継続。 	
情報通信 (5G)	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足に加え部材の価格高騰が継続。 人口知能 (AI) 等の市場の活発化。 	
インフラ (リニア新幹線)	<ul style="list-style-type: none"> 大型プロジェクトは、当社計画より遅延。 	

分野	状況	2024年 3月期
ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> 汎用液晶パネルは、低調が継続する見通し。 最悪期は脱し、年明け以降の回復を見込む。 	
家電・住宅建材 (難燃剤)	<ul style="list-style-type: none"> 家電・AV機器の需要は、中国市場の景気低迷の影響を受ける。 臭素価格が急落しており今後の見通しは不明瞭。 国内住宅建材向け断熱材用途は低迷。 	

具体的な対策

- ①価格是正の継続と原材料確保による安定供給
- ②原材料の価格転嫁を確実に反映した利益確保
- ③販売量増加による工場稼働率アップ
- ④投資効率の向上（コストダウン、在庫調整、業務効率化）
- ⑤開発テーマの早期実績化、インスパイアード・パートナーとの取り組み強化

連結 セグメント別売上高予想



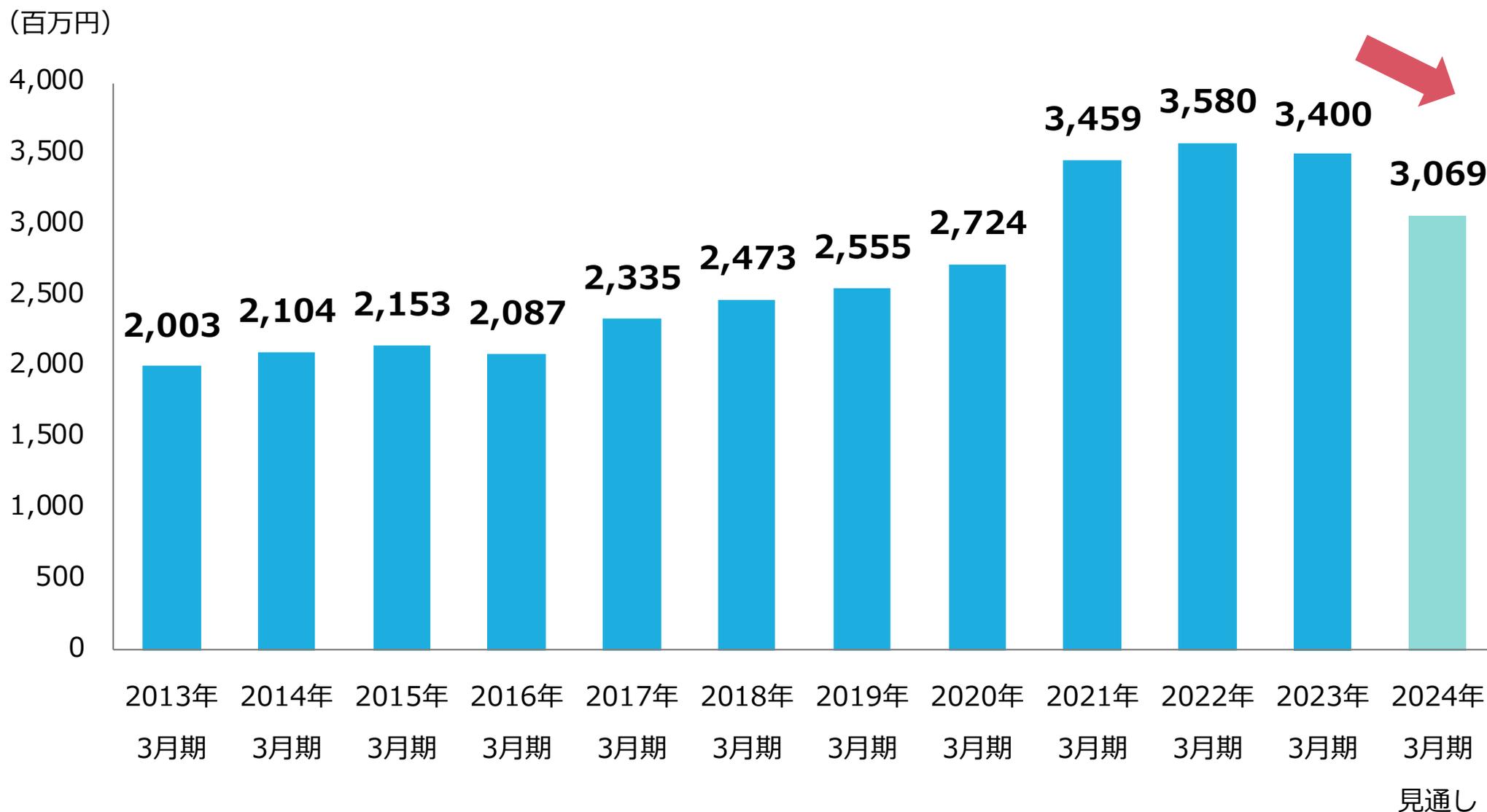
セグメント 単位：百万円	2023年3月期（実績）					2024年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期		下半期	通期	構成比 （%）	上半期		下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
	1Q	2Q				1Q （実績）	2Q （予想）					
界面活性剤	4,567	4,967	9,442	18,976	28	4,287	4,912	10,600	19,800	29	824	4
アメニティ材料	1,945	2,212	3,921	8,079	12	1,969	2,230	4,800	9,000	13	921	11
ウレタン材料	1,766	2,452	4,542	8,761	13	2,151	2,348	4,900	9,400	14	639	7
機能材料	5,487	6,031	11,055	22,574	35	3,961	4,938	13,700	22,600	32	26	0
電子デバイス材料	1,550	1,542	3,097	6,191	10	1,423	1,576	3,700	6,700	10	509	8
ライフサイエンス	123	118	255	497	1	89	110	300	500	1	3	1
合計	15,441	17,324	32,315	65,081	100	13,884	16,115	38,000	68,000	100	2,919	4

連結 セグメント別営業利益予想



セグメント 単位：百万円	2023年3月期（実績）					2024年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期		下半期	通期	構成比 （%）	上半期		下半期 （予想）	通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
	1Q	2Q				1Q （実績）	2Q （予想）					
界面活性剤	389	514	844	1,749	147	229	600	1,370	2,200	88	451	26
アメニティ材料	6	51	△ 60	△ 1	△ 0	△ 25	105	300	380	15	381	—
ウレタン材料	△ 126	△ 71	△ 49	△ 247	△ 21	△ 152	△ 47	△ 70	△ 270	△ 11	△ 23	—
機能材料	144	103	33	281	24	△ 333	353	550	570	23	289	103
電子デバイス材料	107	45	△ 13	139	12	△ 36	126	250	340	14	201	145
ライフサイエンス	△ 230	△ 217	△ 286	△ 734	△ 62	△ 253	△ 166	△ 300	△ 720	△ 29	14	—
合 計	291	425	468	1,186	100	△ 572	972	2,100	2,500	100	1,314	111

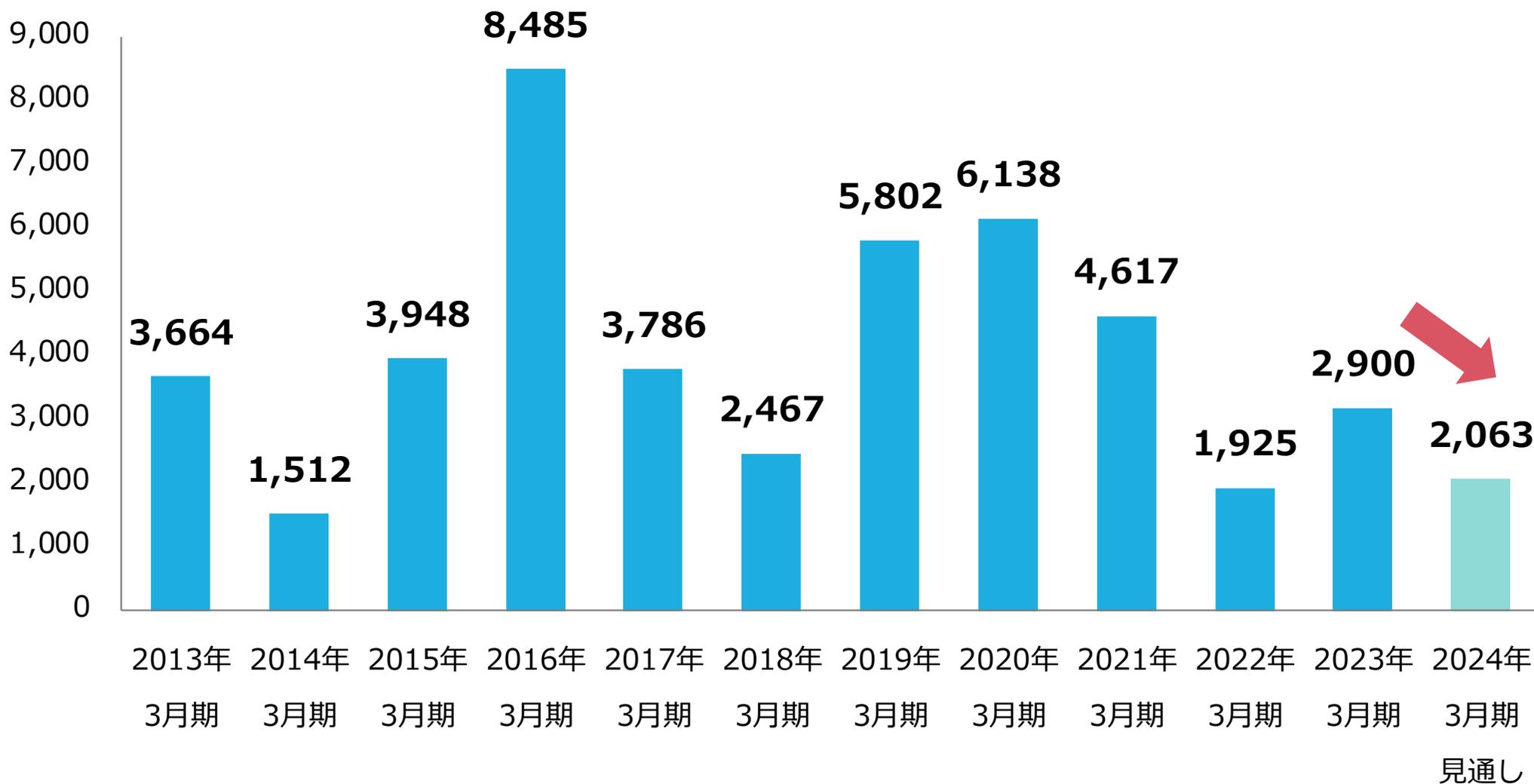
連結 減価償却費の推移



連結 設備投資額の推移



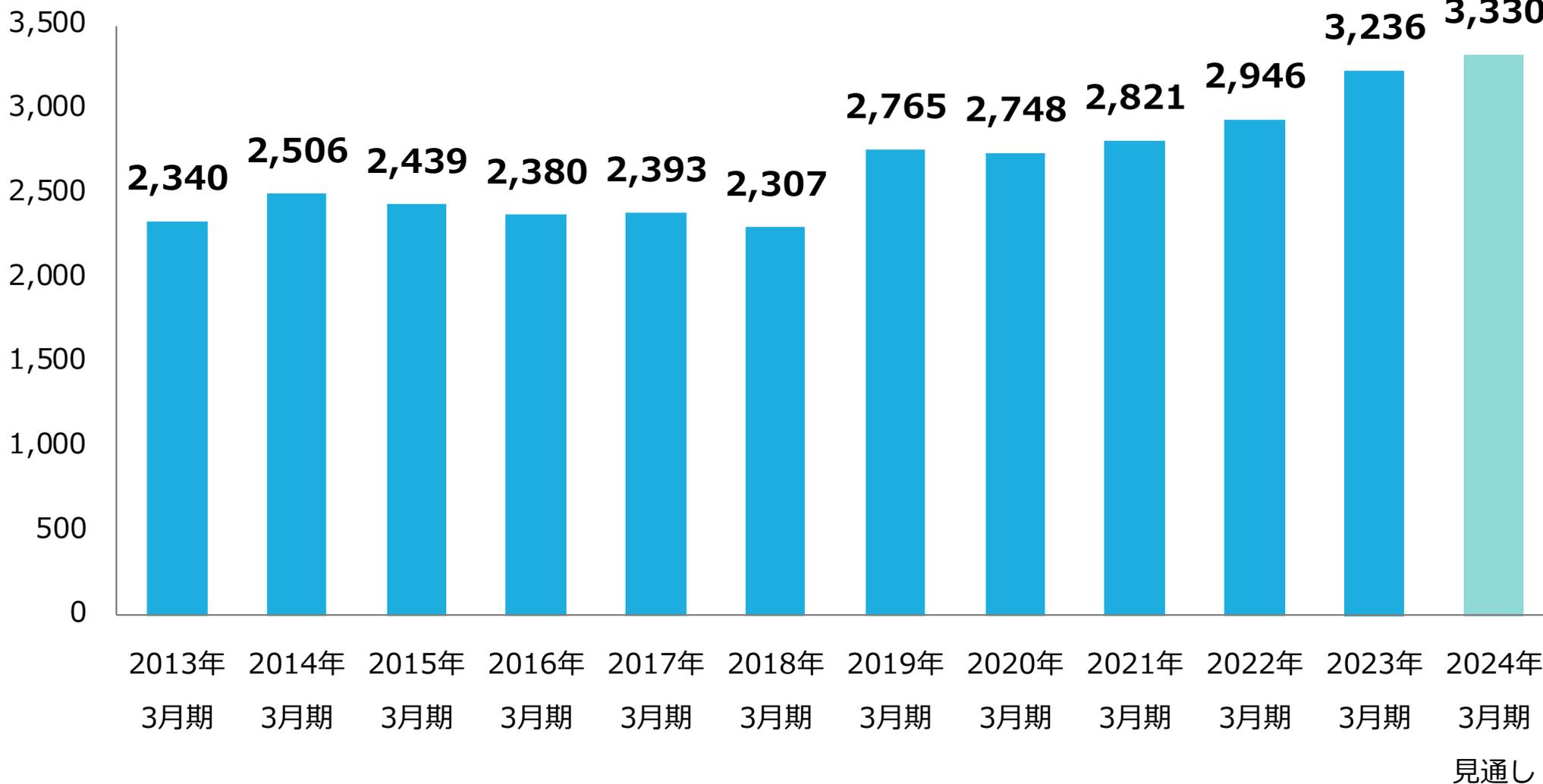
(百万円)



連結 研究開発費の推移



(百万円)



業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

戦略統括部 広報 I R 部

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp